

令和6年度
第2回朝霞市博物館協議会次第

日 時 令和7年2月28日(金)
午後2時00分～
場 所 朝霞市博物館 講座室

1 開 会

2 あいさつ

3 議 題

- (1) 会長の選任について
- (2) 副会長の選任について
- (3) 令和6年度事業報告
- (4) 令和7年度事業計画
- (5) その他

4 閉 会

令和6年度 第2回博物館協議会
資 料

日 時 令和7年2月28日(金) 午後2時00分

会 場 朝霞市博物館 講座室

(3) 令和6年度事業報告

令和6年度(2024年度)博物館事業報告
令和6年(2024年)4月1日～令和7年(2025年)1月31日

令和7年1月31日現在

1 令和6年度 利用統計

| 年度 | 開館日数 | 入館・利用者数 (団体含む) | 学校団体 | | 一般団体 | |
|------------|--------|-------------------|-------|---------|---------|---------|
| | | | 団体数 | 人数 | 団体数 | 人数 |
| 令和6年度 | 240日 | 22,784人 | 23団体 | 2,379人 | 98団体 | 974人 |
| 令和5年度 | 290日 | 25,118人 | 26団体 | 2,303人 | 99団体 | 1,016人 |
| 平成8年～令和4年度 | 7,334日 | 1,207,350人 | 938団体 | 69,910人 | 2,966団体 | 38,794人 |
| 合計 | 7,864日 | 1,255,252人 | 987団体 | 74,592人 | 3,163団体 | 40,784人 |

2 令和6年度 事業報告

| 事業・講座名 | 趣旨・内容 | 対象 | 日程・講師 | 参加人数累計 |
|--------|--|--|--|---------|
| 常設展示 | 考古分野 「遺跡が語る朝霞」 歴史分野 「陸の道と水の道」 民俗分野 「水となりわい」 | - | 【通年】 | 21,705人 |
| | 民俗分野「むかしのくらし」 | - | 【日程】 6月22日(土) ～9月1日(日) ※企画展・テーマ展示等の開催時は撤収・入替 | 5,694人 |
| | 美術・工芸分野「朝霞の美術・工芸」 | - | 【日程】 6月22日(土) ～9月1日(日) ※企画展・テーマ展示等の開催時は撤収・入替 | 5,694人 |
| 企画展 | 第38回企画展「根岸古墳群と内間木古墳群～朝霞の古墳時代～」 | - | 【日程】 令和7年3月8日(土) ～令和7年5月6日(火) ※次年度に継続 | |
| | 企画展関連講演会「埴輪から見た古墳時代の朝霞(仮称)」 | 未定 | 【日程】 令和7年4月20日(日) 【講師】 立正大学博物館学芸員 大谷徹氏 | |
| | 企画展関連体験教室 ①火おこしに挑戦! ②まが玉をつくろう! | ①火おこしの歴史について学習した上で、木製発火具や火打石を使って火をおこす。 ②勾玉について学習した上で、ろう石を削り磨いて勾玉をつくる。 | ①どなたでも ②小学生 | 【日程】未定 |

文化財課 博物館

| 事業・講座名 | 趣旨・内容 | 対象 | 日程・講師 | 参加人数累計 |
|---------|--------------------------------|-----------|---|----------------------|
| テーマ展示 | 「池田幹雄追悼展」 | - | 【日程】 5月1日(水) ～5月31日(金) ※感謝状贈呈式5月22日(水) | 2,849人 |
| | 「朝霞市県展作品展」 | - | 【日程】 9月14日(土) ～9月29日(日) | 1,921人 |
| | 出品者内覧会 | 出品者による内覧会 | 出品者 【日程】 9月11日(水) | 10人 |
| ギャラリー展示 | 「朝霞と地震-関東大震災から100年を迎えて-」 | - | 【日程】 令和6年2月3日(土) ～4月7日(日) ※前年度継続事業 | 前年度4,275人 計4,770人 |
| | 「あさか発掘調査速報展-足元に眠る地域の記憶-」 | - | 【日程】 7月13日(土) ～9月1日(日) | 4,251人 |
| | ギャラリー展示「皇女和宮下向と朝霞」 | - | 【日程】 令和7年1月18日(土) ～令和7年2月16日(日) | 1,883人 |
| 収蔵資料展示 | 小学校3年生博物館利用授業展示「昔の道具」① | - | 【日程】 令和5年12月23日(土) ～令和6年4月7日(日) ※前年度継続事業 | 前年度7,467人 計7,962人 |
| | 小学校3年生博物館利用授業展示「昔の道具」② | - | 【日程】 11月16日(土) ～令和7年2月9日(日) | 5,564人 |
| 資料紹介展示 | 「独楽」 | - | 【日程】 4月27日(土) ～6月30日(日) | 4,523人 |
| | 博物館体験教室関連展示「ワタから糸へ」① | - | 【日程】 令和5年12月1日(金) ～令和6年4月7日(日) ※前年度継続事業 | 前年度8,465人 計8,960人 |
| | 博物館体験教室関連展示「ワタから糸へ」② | - | 【日程】 11月28日(木) ～令和7年3月23日(日) | 4,679人 |
| | 博物館実習生展示「鳥と朝霞市の関係」・「オリンピックと朝霞」 | - | 【日程】 8月28日(水) ～9月3日(火) | 515人 |

| | 事業・講座名 | 趣旨・内容 | 対象 | 日程・講師 | 参加人数累計 |
|---------|-------------------------------|--|-----------------------------------|--|-----------------------------------|
| 生体展示 | 「朝霞で見られる水の生き物」 | コイ・フナ・ドジョウ・アメリカザリガニなど朝霞で見られる水の生き物について生体展示を行う。 | - | 【通年】 | 21,705人 |
| | 「博物館で生まれたカブトムシ」 | 夏休み期間にあわせ、博物館で羽化したカブトムシの生体展示を行う。 | - | 【日程】 7月14日(日) ～9月3日(火) | 4,215人 |
| 講座 | 歴史講座 (連続3回) | 江戸時代の朝霞地域の様子を、絵図を読み解きながら考える | どなたでも (市民優先) | 【日程】 ①令和7年2月8日(土) ②令和7年2月22日(土) ③令和7年3月8日(土) 【講師】 近世史研究家 宮原一郎氏 | 定員各回40人 |
| | 古文書講座 ～はじめての古文書～ (連続5回) | 朝霞市内に残る古文書を読み解き、古文書の読み方とともに地域の歴史を学ぶ。 | どなたでも (市民で初めての方優先) ※連続受講可能者 | 【日程】 ①令和7年1月12日(日) ②令和7年1月26日(日) ③令和7年2月2日(日) ④令和7年2月9日(日) ⑤令和7年2月16日(日) ⑥令和7年3月2日(日) 【講師】 立正大学専任講師 栗原健一氏 | 定員各回36人 32人 33人 計65人 |
| 博物館体験教室 | ①「たたき独楽を回してみよう！」 | 日本の伝統文化に対し、興味と理解を育てるために、様々な地域の特色ある独楽を実際に回す体験教室を実施する。 | どなたでも | 【日程】 5月5日(日・祝) 午後1時～午後3時30分 【講師】当館学芸員 岡田 貴哉 | 21人 |
| | ②「はじめての篆刻」 | 篆刻を通し、字形の歴史を学ぶことを目的とし、彫刻刀で石を掘り、オリジナルの印鑑を作成する。 | 市内在住で18歳以上の方 | 【日程】 9月22日(日) 午後1時30分～4時30分 【講師】 日展準会員 読売書法会常任理事 岩村 節彦氏 | 定員 6人 6人 |
| | ③「凧をつくろう！」 | 竹と和紙を使用して凧を作成する。竹や和紙を身近に感じてもらい、当時の様子や遊びを想像する。 | 小学生 (1・2年生は保護者同伴) | 【日程】11月2日(土) ①午前10時～11時30分 ②午後1時30分～3時 【講師】当館学芸員 岡田 貴哉 | 定員 各回12人 8人 8人 計16人 |
| | ④「まが玉をつくろう！」 | ろう石を磨いて勾玉を作る。勾玉とは何かを学び、勾玉づくりの技術の一端を体験する。 | 小学生 (1・2年生は保護者同伴) | 【日程】11月24日(日) ①午前10時～11時30分 ②午後2時～午後3時30分 【講師】当館学芸員 江原 順 | 定員 各回16人 15人 15人 計30人 |
| | ⑤「火おこしに挑戦！」 | 木製発火具等を使って火をおこす。考古学、ひいては郷土史への関心を喚起する。 | どなたでも (小学1・2年生以下は保護者同伴) | 【日程】12月1日(日) ①午前10時～11時 ②午後2時～3時 【講師】当館学芸員 江原 順 | 定員 各回8組 7組 8組 計15組 |
| | ⑥「おりがみで干支を折ろう！」 | 年始という実施時期を鑑み、干支である「巳」に因んで「へび」を折り紙で制作する。 | 小学5年生以上 | 【日程】 令和7年1月11日(日) ①午前9時30分～11時30分 ②午後1時30分～3時30分 【講師】 日本折紙協会講師 本多秀子 | 定員 各回12人 9人 6人 計15人 |
| | ⑦「糸車で糸を紡ごう」 | 糸車を使って綿から糸を紡ぎ、綿の繊維を引き出し撚りをかけ、巻き取るという糸を紡ぐ工程を学ぶ。 | どなたでも (小学校3年生以下は保護者同伴) | 【日程】 令和7年3月22日(土) ①午前10時～11時 ②午後1時30分～2時30分 ③午後3時～4時 【講師】当館学芸員等 | 定員 各回6組 |

文化財課 博物館

| 事業・講座名 | 趣旨・内容 | 対象 | 日程・講師 | 参加人数累計 | |
|----------|-------------------------|---|---|---|--|
| 夏休み体験教室 | ①「まが玉をつくろう！」 | ろう石を磨いて勾玉を作る。勾玉とは何かを学び、勾玉づくりの技術の一端を体験する。 | 小学生 (1・2年生は保護者同伴) | 【日程】8月1日(木) ①午前10時～11時30分 ②午後1時30分～3時 【講師】 当館学芸員 岡田 貴哉 | 定員各回12人 12人 12人 計24人 |
| | ②「あんどんをつくろう！」 | 木材と紙を使用して行燈を作る。体験を通して当時の様子や暮らしを想像する。 | 小学生 (1・2年生は保護者同伴) | 【日程】8月8日(木) ①午前10時～11時30分 ②午後1時30分～3時 【講師】 当館学芸員 岡田 貴哉 | 定員各回12人 12人 12人 計24人 |
| | ③「コースターをつくろう！」 | 身近な材料を使い、簡単な織機でコースターを織る。体験を通して織物の原理を学ぶ。 | 小学生 (1・2年生は保護者同伴) | 【日程】8月18日(日) ①午前10時～11時30分 ②午後1時30分～3時 【講師】 専門技術者 菅井 美穂子氏 | 定員各回12人 10人 10人 計20人 |
| 博学連携事業 | 小学校3年生 博物館利用授業 | 郷土学習を始める市内小学校3年生を対象に、調べ学習、体験学習などの博物館利用授業を行う。 ※バス借上げによる来館児童送迎あり(教育指導課予算)。 | 市内小学校 3年生 | ①1月16日(木)六小①3C ②1月17日(金)六小②2C ③1月21日(火)十小5C ④1月22日(水)七小4C ⑤1月23日(木)三小5C ⑥1月24日(金)一小3C ⑦1月28日(火)八小①3C ⑧1月29日(水)八小②3C ⑨1月30日(木)九小2C ⑩1月31日(金)二小4C ⑪2月5日(水)五小4C ⑫2月6日(木)四小3C 計 | 99人 67人 143人 116人 144人 105人 99人 100人 67人 125人 1,065人 |
| | 小学校1年生 博物館利用授業 | 小学校1年生国語科「たぬきの糸車」に伴う糸車体験教室を行う。 ※出張授業 | 市内小学校 1年生 | ①11月26日(火)六小①3C ②11月27日(水)四小3C ③11月28日(木)六小②3C ④12月4日(水)五小4C ⑤12月5日(木)九小2C ⑥12月6日(金)十小3C ⑦12月10日(火)二小4C ⑧12月11日(水)三小4C ⑨12月12日(木)七小4C ⑩12月17日(火)一小3C 計 | 92人 102人 90人 139人 60人 94人 128人 134人 111人 83人 1,033人 |
| | 博物館利用検討委員会 | 市内小中学校教諭からなる同委員会にて、上記プログラムなどの博学連携事業等について検討し、学校の博物館利用促進を図る。 | 市内小中学校 教諭 | 【定例会兼研修会】 7月9日(火) 午後3時30分～4時30分 【主催】 博物館利用検討委員会 | 14人 |
| 博物館学芸員実習 | 学芸員養成課程履修学生の館務実習を受け入れる。 | 大学生 | 【日程】 8月20日(火) ～8月27日(火) (※7日間) | 5大学 5人 | |

| 事業・講座名 | 趣旨・内容 | 対象 | 日程・講師 | 参加人数累計 | |
|--------|---------|--|-------|--------|---|
| 調査 | 古文書調査 | 古文書目録の整理及び解説を行う。 目録 「比留間ヨシ家文書」 解説 「細田優家文書」 | - | 通年 | - |
| | 自然史資料調査 | 博物館や文化財所管施設の自然史資料(生態系等)の調査を行う。 | - | 通年 | - |

3 刊行物・広報

| | | |
|---------|---|--|
| 刊行物・広報等 | 「朝霞市県展作品展」 | ハガキ 300枚(令和6年 9月 7日発行) リーフレット 600枚(令和6年 9月 7日発行) |
| | 記者発表による報道機関等への周知を行うと共に、報道機関等からの取材に対し、企画展・講座等の博物館事業の情報提供等を行う。また、『広報あさか』及び朝霞市ホームページに事業情報を掲載し、メール配信サービスにて情報を配信するなど、広報に努める。 | 新聞社:1件 情報誌等:3件 広報あさか:毎月号 ホームページ:随時更新 メール配信サービス登録者:随時 |

4 その他

(1) 館内くん蒸による臨時休館

令和6年6月14日(金)～6月21日(金)【8日間】

(2) 外壁等改修工事

令和6年5月15日(水)～令和7年3月14日(金)

主な工事内容:外壁タイル及び金属屋根補修、コンクリート部分塗装、屋上防水等

(3) 利用者アンケート 【令和7年1月31日現在】

・4月1日(月)～令和7年1月31日(金)

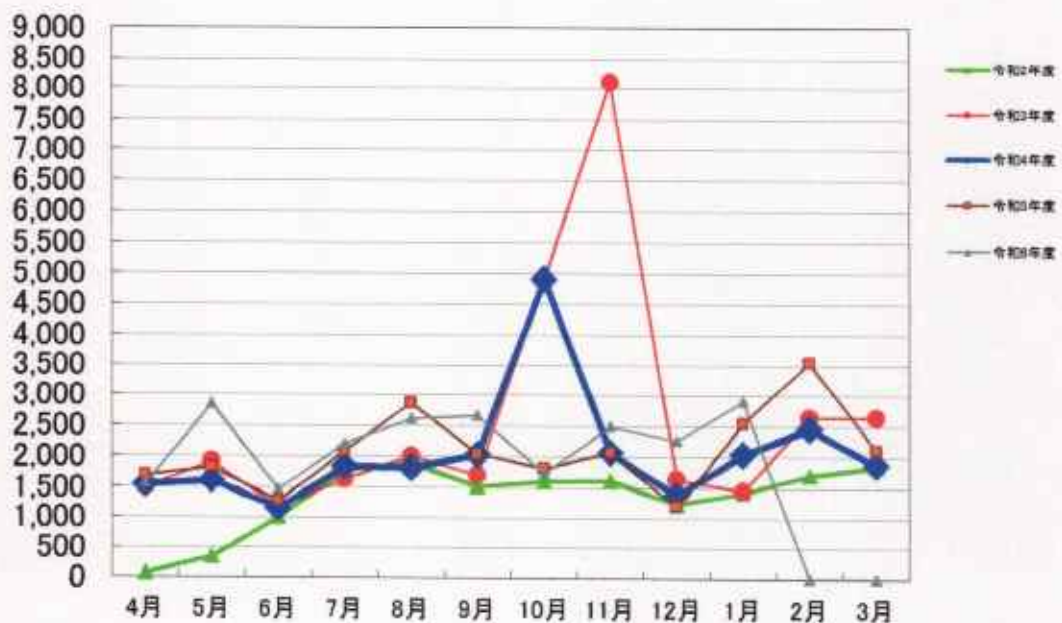
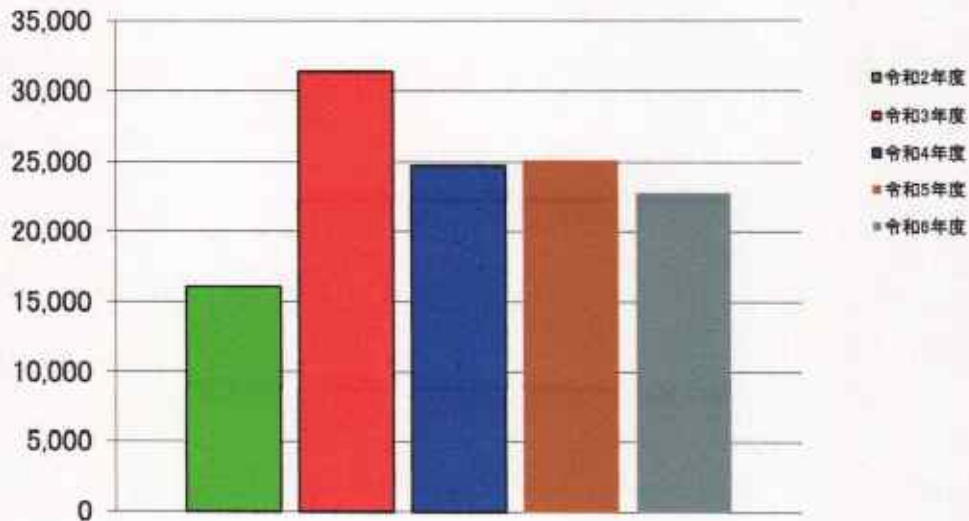
入館者数…… 21,979人

うち開館日数: 240日

アンケート回答数:132人(0.6%)

利用統計 令和2年度 ~ 令和6年度 (令和7年1月末現在)

| 年数 | 25 | | | 26 | | | 27 | | | 28 | | | 29 | | |
|-----|-------|--------|--------|-------|--------|--------|-------|--------|--------|-------|--------|--------|-------|--------|--------|
| | 令和2年度 | | | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | 令和5年度 | | | 令和6年度 | | |
| 年度 | 開館日数 | 入館者数 | 平均入館者数 | 開館日数 | 入館者数 | 平均入館者数 | 開館日数 | 入館者数 | 平均入館者数 | 開館日数 | 入館者数 | 平均入館者数 | 開館日数 | 入館者数 | 平均入館者数 |
| 4月 | 1 | 69 | 69 | 24 | 1,501 | 63 | 25 | 1,547 | 64 | 25 | 1,697 | 68 | 24 | 1,566 | 65 |
| 5月 | 6 | 345 | 58 | 25 | 1,918 | 77 | 24 | 1,614 | 67 | 25 | 1,827 | 73 | 27 | 2,849 | 106 |
| 6月 | 18 | 1,001 | 56 | 19 | 1,175 | 62 | 19 | 1,153 | 64 | 19 | 1,276 | 67 | 18 | 1,474 | 82 |
| 7月 | 27 | 1,787 | 66 | 27 | 1,633 | 60 | 26 | 1,838 | 71 | 25 | 2,091 | 84 | 25 | 2,206 | 88 |
| 8月 | 25 | 1,906 | 76 | 25 | 2,014 | 81 | 24 | 1,827 | 76 | 26 | 2,868 | 110 | 26 | 2,617 | 101 |
| 9月 | 25 | 1,524 | 61 | 25 | 1,710 | 68 | 26 | 2,038 | 78 | 26 | 2,049 | 79 | 25 | 2,669 | 107 |
| 10月 | 26 | 1,615 | 62 | 26 | 4,904 | 189 | 26 | 4,908 | 189 | 26 | 1,820 | 70 | 26 | 1,735 | 67 |
| 11月 | 23 | 1,624 | 71 | 24 | 8,103 | 338 | 24 | 2,071 | 86 | 25 | 2,077 | 83 | 25 | 2,496 | 100 |
| 12月 | 22 | 1,235 | 56 | 23 | 1,647 | 72 | 21 | 1,391 | 66 | 21 | 1,198 | 57 | 22 | 2,266 | 103 |
| 1月 | 23 | 1,429 | 62 | 22 | 1,459 | 66 | 22 | 2,046 | 93 | 22 | 2,549 | 116 | 22 | 2,906 | 132 |
| 2月 | 21 | 1,715 | 82 | 22 | 2,643 | 120 | 23 | 2,462 | 107 | 25 | 3,549 | 142 | | 0 | |
| 3月 | 25 | 1,857 | 74 | 26 | 2,644 | 102 | 25 | 1,879 | 75 | 25 | 2,117 | 85 | | 0 | |
| 計 | 242 | 16,107 | 67 | 288 | 31,351 | 109 | 285 | 24,774 | 87 | 290 | 25,118 | 87 | 240 | 22,784 | 95 |



(4) 令和7年度事業計画

令和7年度(2025年度)博物館事業計画

令和7年(2025年)4月1日～令和8年(2026年)3月31日

令和7年1月31日現在

1 令和7年度事業計画

| 事業・講座名 | 趣旨・内容 | 対象 | 日程・概要 |
|--|--|----|--|
| 常設展示 <考古分野> 「遺跡が語る朝霞」 <歴史分野> 「陸の道と水の道」 <民俗分野> 「水となりわい」 | 朝霞の歴史や文化について、遺跡とその出土品、川越街道と膝折宿、舟運と東上線、水車利用の伸銅を取り上げ、エポック展示として紹介する。 | - | 【通年】 |
| 民俗分野 「むかしのくらし」 | 昭和30～40年代頃のくらしの風景や道具について紹介する。 | - | 【日程】 6～8月、3月 ※企画展・テーマ展示等の開催時は撤収・入替 |
| 美術・工芸分野 「朝霞の美術・工芸」 | 市内に伝わる染色、仏像・神像を取り上げ紹介する。 | - | 【日程】 6～8月、3月 ※企画展・テーマ展示等の開催時は撤収・入替 |
| 企画展 第38回企画展 「根岸古墳群と内間木古墳群～朝霞の古墳時代～」 | 朝霞にある二つの古墳群のうち、終塚や一夜塚が知られる根岸古墳群についてはこれまでよく紹介されてきた。そこで今回は、対をなす内間木古墳群の近年、あるいは速報的な調査成果を採り上げながら、両古墳群とその時代について紹介する。 | - | 【日程】 令和7年3月8日(土)～5月6日(火) ※前年度継続事業 |
| 企画展 第39回企画展 「旅と宿場～川越街道膝折宿を中心に～」(仮称) | 朝霞の歴史や文化に関連した事柄についての学芸員による調査・研究の展示を行う。 | - | 【日程】 11月8日(土)～12月14日(日)(予定) |
| テーマ展示 朝霞市県展 作品展 | 第73回埼玉県美術展覧会(県展)において出品された市内作家の入選作品等を集めて紹介する。 | - | 【日程】 9月13日(土)～9月28日(日) (予定) |
| ギャラリー展示 あさか発掘調査速報展 | 令和6年度に実施した市内の発掘成果について、出土した土器や発掘調査の写真パネル等を中心に紹介・展示する。 | - | 【日程】 7月～8月 |
| ギャラリー展示 冬のギャラリー展示 | 朝霞の歴史・民俗・美術に関わるテーマで、写真パネルを中心とした展示を行う。 | - | 【日程】 令和8年1月～6月 ※次年度に継続 |
| 収蔵資料紹介展示 「昔の道具」 | 「昔の道具」を展示する。 | - | 【日程】 12月～3月(予定) |

| 事業・講座名 | 趣旨・内容 | 対象 | 日程・講師 | 参加人数累計 |
|---------|--------------------------------|-----------|---|----------------------|
| テーマ展示 | 「池田幹雄追悼展」 | - | 【日程】 5月1日(水) ～5月31日(金) ※感謝状贈呈式5月22日(水) | 2,849人 |
| | 「朝霞市県展作品展」 | - | 【日程】 9月14日(土) ～9月29日(日) | 1,921人 |
| | 出品者内覧会 | 出品者による内覧会 | 出品者 | 【日程】 9月11日(水) |
| ギャラリー展示 | 「朝霞と地震-関東大震災から100年を迎えて-」 | - | 【日程】 令和6年2月3日(土) ～4月7日(日) ※前年度継続事業 | 前年度4,275人 計4,770人 |
| | 「あさか発掘調査速報展-足元に眠る地域の記憶-」 | - | 【日程】 7月13日(土) ～9月1日(日) | 4,251人 |
| | ギャラリー展示「皇女和宮下向と朝霞」 | - | 【日程】 令和7年1月18日(土) ～令和7年2月16日(日) | 1,883人 |
| 収蔵資料展示 | 小学校3年生博物館利用授業展示「昔の道具」① | - | 【日程】 令和5年12月23日(土) ～令和6年4月7日(日) ※前年度継続事業 | 前年度7,467人 計7,962人 |
| | 小学校3年生博物館利用授業展示「昔の道具」② | - | 【日程】 11月16日(土) ～令和7年2月9日(日) | 5,564人 |
| 資料紹介展示 | 「独楽」 | - | 【日程】 4月27日(土) ～6月30日(日) | 4,523人 |
| | 博物館体験教室関連展示「ワタから糸へ」① | - | 【日程】 令和5年12月1日(金) ～令和6年4月7日(日) ※前年度継続事業 | 前年度8,465人 計8,960人 |
| | 博物館体験教室関連展示「ワタから糸へ」② | - | 【日程】 11月28日(木) ～令和7年3月23日(日) | 4,679人 |
| | 博物館実習生展示「鳥と朝霞市の関係」・「オリンピックと朝霞」 | - | 【日程】 8月28日(水) ～9月3日(火) | 515人 |

朝霞市博物館協議会委員一覧

| 委員名 | 主な職業又は所属・職名 | 新任・再任の別 |
|--------|-------------------------|---------|
| 榎本 洋二 | 陶芸家 | 再任 |
| 金子 幸男 | 朝霞市公民館運営審議会委員長 | 再任 |
| 榎田 直子 | 朝霞市公民館運営審議会委員 | 新任 |
| 杉山 正司 | 元埼玉県立歴史と民俗の博物館主任専門員兼学芸員 | 再任 |
| 鈴木 香織 | 朝霞第五中学校長 | 再任 |
| 陶山 憲裕 | 朝霞市文化財保護審議会委員会議長 | 再任 |
| 利根川 仁志 | 朝霞市議会議員 | 再任 |
| 原口 憲充 | 朝霞第四小学校長 | 再任 |
| 増山 智宏 | 公募委員 | 新任 |
| 吉岡 知子 | 埼玉県立近代美術館学芸員 | 再任 |

五十音順

任期:令和7年2月20日 ~令和9年2月19日

○朝霞市博物館条例

平成8年10月1日条例第18号

改正

平成24年3月29日条例第9号

平成28年6月27日条例第30号

令和5年3月27日条例第5号

朝霞市博物館条例

(設置)

第1条 博物館法（昭和26年法律第285号。以下「法」という。）第2条第1項に規定する博物館として、朝霞市博物館（以下「博物館」という。）を朝霞市岡2丁目7番22号に設置する。

(入館料)

第2条 博物館の入館料は、無料とする。ただし、博物館が期間を定めて特別の企画による資料を展示した場合においては、市長は、入館料の額を定め、これを徴収することができる。

(入館料の免除)

第3条 市長は、次の各号のいずれかに該当する者については、前条ただし書の入館料を免除することができる。

- (1) 教育課程に基づく学習活動として入館する朝霞市立、志木市立、和光市立又は新座市立の小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程又は特別支援学校の小学部及び中学部の児童又は生徒
- (2) 前号に掲げる者の引率者
- (3) 博物館主催の事業に参加する者
- (4) その他市長が特別の理由があると認める者

(入館料の還付)

第4条 既納の入館料は、還付しない。ただし、朝霞市教育委員会（以下「教育委員会」という。）は、特別の理由があると認めるときは、入館料を還付することができる。

(博物館協議会)

第5条 法第23条第1項の規定に基づき、朝霞市博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

(定数)

第6条 協議会の委員（以下「委員」という。）の定数は、10人とする。

(任命)

第7条 委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、教育委員会が任命する。

(任期)

第8条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

第9条 協議会に会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。

3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第10条 協議会の会議は、会長が招集し、その議長となる。

2 協議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ、開くことができない。

3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第11条 協議会の庶務は、博物館において処理する。

(委任)

第12条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

この条例は、平成9年2月12日から施行する。

附 則 (平成24年条例第9号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

附 則 (平成28年6月27日条例第30号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (令和5年3月27日条例第5号)

この条例は、令和5年4月1日から施行する。

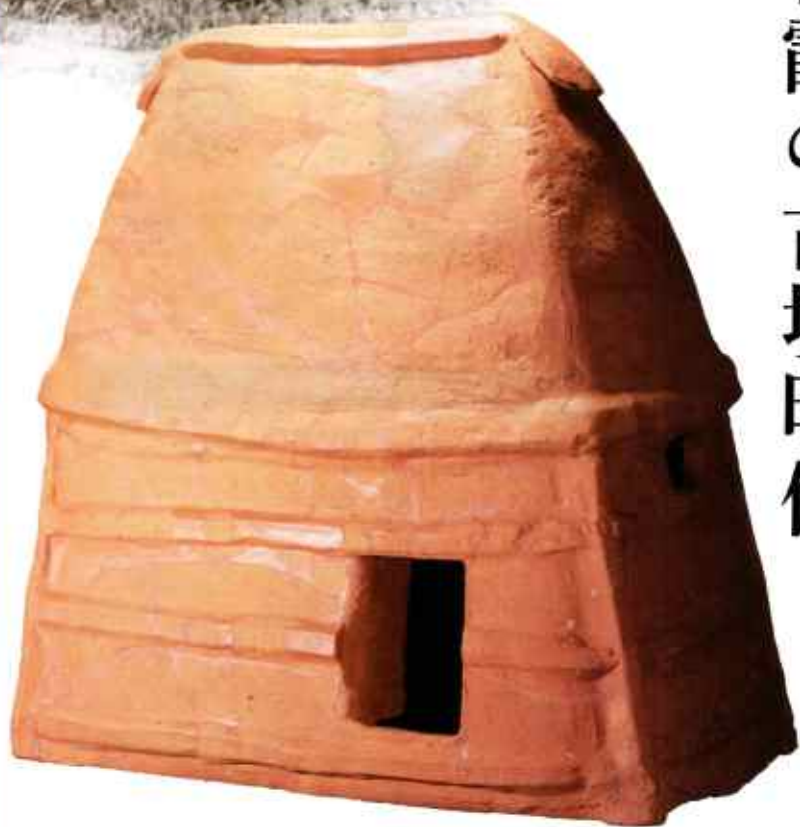
根岸古墳群と

内間木古墳群

（朝霞の古墳時代）



狭山古墳 空玉・耳環



袴塚古墳 冢形埴輪

令和7年

3.8|土|~5.6|火|

開館時間：午前9時～午後5時

会期中の休館日：月曜日(ただし5月5日は開館)、
3月21日(金)、4月30日(水)

入館無料



一夜塚古墳 方格丁字鏡



朝霞市博物館

根岸古墳群と内間木古墳群

～朝霞の古墳時代～

朝霞には根岸古墳群、内間木古墳群と呼ばれる二つの古墳群があります。根岸古墳群では、現存する墳丘が県指定史跡とされている柵塚古墳と、鏡や武器、武具、馬具などの出土遺物が市指定文化財とされている一夜塚古墳がよく知られています。

一方、内間木古墳群についてはこれまで根岸古墳群と対をなして紹介されてきましたが、発掘調査による情報はあまり多くありませんでした。

そこで今回は、内間木古墳群の近年、あるいは速報的な調査成果を採り上げながら、両古墳群とその時代について他地域の比較資料も交えて紹介したいと思います。

本展が意外と身近にある古墳、ひいては文化財に触れる一助となれば幸いです。



新塚敷15号墳 弓を構え持つ人物埴輪
埼玉県教育委員会蔵

下松5号墳 弓を担ぐ人物埴輪
東松山市教育委員会蔵・写真提供

関連講演会

「埴輪から見た古墳時代の朝霞」

講師：立正大学博物館 学芸員 大谷 徹 氏
日時：4月20日（日）午後2時～3時30分
会場：朝霞市博物館 講座室
対象／定員：一般／40人

「申込方法」

先着順。市ホームページ申込フォーム、電話、博物館窓口で受付。受付状況は博物館ホームページをご確認ください。

ギャラリートーク

企画展担当学芸員が 展示資料の解説を行います。

日時：5月6日（火）午後2時～3時
会場：朝霞市博物館 展示室
対象／定員：どなたでも／特になし

「申込方法」

不要。当日直接展示室にお越しください。



朝霞市博物館

〒351-0007 埼玉県朝霞市岡 2-7-22

[TEL] 048-469-2285 [FAX] 048-468-0079

[URL] <https://www.city.asaka.lg.jp> (朝霞市ホームページ)

[アクセス] 東武東上線 朝霞台駅・

JR 武蔵野線 北朝霞駅より徒歩 15分



朝霞市博物館
ホームページ

2 生涯学習

2 第6次総合計画策定に向けた施策(中柱)

(1) 生涯にわたる学びの推進

(2) 学びを支える環境の充実



35

2 生涯学習

施策(中柱)

(1) 学びを支える環境の充実

施策(小柱)

① 学習活動の支援・充実

② 利用しやすい施設の提供

36

2 生涯学習

施策(中柱)

(2) 学びを支える環境の充実

現状と課題等

- 通信機器の普及・デジタル化をはじめ、情報ツールや学習方法等が多様化している中、市民ニーズの把握に努め、より効果的な事業の実施や適切な資料の収集・提供を行うなど、学習活動の推進と利用者の満足度の向上に努める必要があります。
- 生涯学習活動拠点として、適切な老朽化対策や社会状況に応じた環境整備を行い、利用者が安全・安心・快適な環境の中で学習できるような効果的な施設運営を行っていく必要があります。

37

4 地域文化

2 第6次総合計画策定に向けた施策(中柱)

(1) 歴史や伝統の保護・活用

(2) 芸術文化の振興

(3) 地域文化によるまちづくり

38

4 地域文化

施策(中柱)

(1) 歴史や伝統の保護・活用

現状と課題等

○地域の歴史や文化財について身近に接する機会が増え、次世代に地域文化が歴史や伝統とともに継承され、郷土に対する愛着や文化財保護の理解と認識を深めていくことが必要です。

○学校との密接な連携により、こどもたちが郷土の歴史や文化を学ぶ機会を広げていくとともに、資料のデジタルアーカイブ化を促進し、ユニバーサルな視点で市民のニーズに対応していく必要があります。

39

4 地域文化

施策(中柱)

(1) 歴史や伝統の保護・活用

施策(小柱)

①文化財の保護・活用・伝承支援

②地域資料の専門的調査研究とその成果の展示・公開

③小・中学校等と連携した学習活動

重要文化財 田高権家住宅



博物館企画展の様子



40